

(豊かさとは 2016参院選:1)

## 経済政策 「矢」の恩恵、届かない

2016年6月9日「朝日新聞」

発足から3年半となる安倍政権は、国民生活の「豊かさ」を掲げて、次々と政策を打ち出してきた。参院選まで1カ月。私たちの社会は暮らしやすくなっているのか、現場を歩いた。

### ■時給800円「続かない」 定職つけない元派遣社員

職探しを始めて3カ月。求人広告をいくら眺めても、目に入るのは「非正規」ばかりだ。

無職独身、実家暮らし。水戸市の沼田雅靖さん(35)は思う。「不安定な仕事はもういやだ」

13年秋、派遣社員として働くコールセンターで、上司から「業務が打ち切りになる」と告げられた。

高校卒業以来、10年以上続けていた仕事。突然の「派遣切り」通告だった。

1年半後の昨年6月、やっとタクシー会社の配車受付のバイトを見つけた。時給800円で1日9時間、年収200万円足らず。携帯電話代と車のガソリン代は自分で払うが、食費や光熱費は同居する父親の年金に頼る。「これでは続かない」。今年3月に辞めた。

この間、「婚活」も続けてきた。支援団体に登録するが、大半の女性が求める条件は年収300万円以上。数人と面会したが、交際に発展したことはない。

父は62歳。いずれ介護を背負うかもしれない。父以外に頼れる存在もない。「どうやったら今の状況から抜け出せるのか」

(千葉卓朗、安田琢典)



求人広告に目を通す沼田雅靖さん  
=7日、水戸市、金川雄策撮影